



みなさま、  
ごきげんよう!

2015年1月3日(土)

— 3月29日(日)

**竹**久夢二(1884-1934)の活躍した大正～昭和初期は、女性文化が花開いた時代です。夢二は雑誌表紙や口絵だけでなく、少女や女性に向けた詩や読み物から身の周りのデザインまで幅広く手掛け、当時の乙女たちに趣味のよい暮らしを提案しました。大正3年(1914)に夢二が開店した「港屋絵草紙店」は、夢二デザインの小物が取り揃え、おしゃれな女性たちがこぞって訪れる東京名所として大変な人気を集めました。

また大正時代は女性たちが社会進出を果たした時代でもあります。夢二の描いた女性像には、束髪に添えた大きなリボンと袴姿が注目を集めた「女学生」や、着物に白いエプロンを身に付けたカフェの女給などの「職業婦人」が登場します。夢二の恋人・お葉はプロのモデルとして活躍しており、働く女性のさきがけといえるでしょう。

夢二は大正期、女学生や職業婦人、さらに断髪・洋装スタイルのモダンガール等、時代を彩った女性たちの姿を幅広く描き、女性の憧れを誘いました。本展では夢二が残した雑誌口絵、デザイン、書籍装幀、芸文作品等を展覧しながら、当時を生きた女性の暮らしぶりも紹介します。

作品キャプション  
①「バラソルをさすお葉」  
大正後期  
②「薔薇」『新少女』表紙  
大正4年(1915)6月号  
③「薔薇の露」『女学生』  
表紙 大正12年(1923)  
4月号

## 竹久夢二美術館

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2 tel 03(5689)0462  
URL <http://www.yayoi-yumeji-museum.jp>

# 竹久夢二と乙女のハイカラらいふ展

展



女学生・職業婦人

・淑女たちの憧れ



◆ 学芸会によるギャラリートーク

1月11日、2月8日、3月8日

(すべて日曜日) 午後3時～

◆ 開館時間、休館日、入館料、交通案内は

弥生美術館に準じます。(裏面参照)

東京・谷根千 大正ロマンの香る場所



## 夢二カフェ 港や

美術館のカフェでくつろぎの時間を過ごしてみませんか。

## 「ミュージアムショップ」

多彩なグッズを取り揃えております。



※ショップのみちにご利用いただけます。

姉妹館：弥生美術館と二館併せてご覧いただけます。



東京メトロ千代田線根津駅 or 南北線東大前駅共に徒歩7分

JR上野駅公園口・しのはずり口より徒歩20分(東京大学弥生門向かい)

※駐車場はございませんので、お車でのお越しはご遠慮ください。